地域で生きがい（役割）をもって「お互い様・おすそ分け」で多世代が交流しながら多様な暮らしができる町づくり

国土交通省
令和２年度　採択提案
事業テーマ：事業育成型

地域の暮らし改善につながる主要な課題を見極め、ニーズを把握し、地域資源を活用しながら持続的に暮らしていいくための機能や施設の整備を目指す。

- 介護や医療の問題は、身体的な課題だけでなく、生活を取り巻く、環境や教育、空き家など、地域の課題とも密接に関係しており、介護や医療だけでは解決しない現状がある。
- 本提案では、鹿児島県南九州市等で、地域に根差した介護事業を長年展開してきた事業者が、地域が抱える様々な課題に向かい合い、暮らしの改善につながる主要な課題を見極め、取り組むべき地域資源（人材や空き家・空き地等）の調査や地域ニーズの把握を行うものである。
- これらの検証を通して、地域で持続的に暮らしていくために必要とされる機能や施設の整備を目指す。

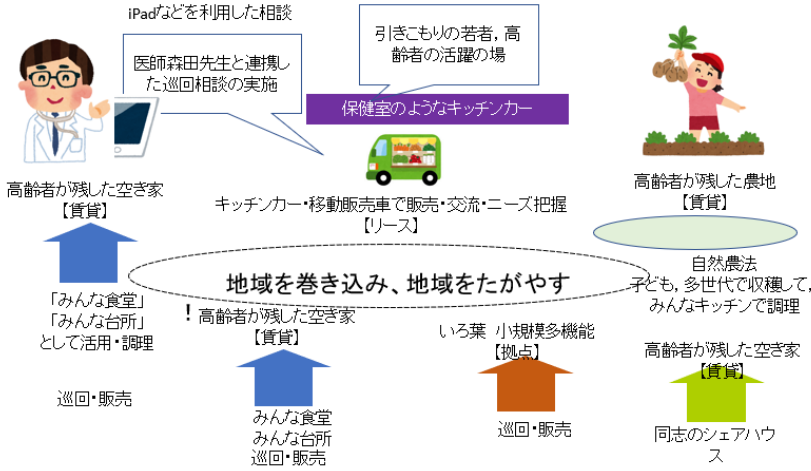
事業概要

代表提案者	株式会社いろ葉
共同提案者	ひらやまのクリニック
事業実施場所	鹿児島県南九州市
事業実施内容	技術の検証（シェアハウスの検証、空き家の活用検討、地域巡回の効果検証等） 情報提供及び普及（キッチンカーによる情報発信、医療従事者向け勉強会、地域住民向け勉強会等）
事業実施期間	令和3年1月～令和4年3月

評価委員会での評価内容

- 生きづらさを抱える人たちに仕事や役割、居場所をつくる提案は、時宜にかなった提案であり、また地域特性に応じたている点も評価できる。今後、本調査の目的に向けた事業展開、スキームづくりの展開を期待したい。
- 一方、耕作放棄地や空き家の活用、さらに普及や交流のための移動販売の活用などは興味深い提案だが、それらが居住の安定確保の観点でどの程度効果が見込めるか、明確な仮説を立て取組み、検証してほしい。

事業の展開イメージ



保健室のような，若者，高齢者が活躍するキッチンカーを市内の空き家の敷地，農地にドッキング・巡回させて，地域の居場所として活用しながら1）若者のシェアハウスに向けて，地域の情報を収集を行うと同時に，2）耕作放棄地や空き家の活用，3）要介護高齢者の就労，4）ご近所を巻き込んだ見守り・有償ボランティア，5）医療との連携，6）お亡くなりになった高齢者の不用品のシェア＞などの情報収集を行う．